

# Linuxサーバを構築し、UCS HUUからCIMCおよびBIOS binファイルを解凍する方法

## 内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[このサーバの構築方法](#)

[ステップ1：必要なソフトウェアをダウンロードします。](#)

[Linux ISOの入手](#)

[Squashのダウンロード](#)

[ステップ2:Linux ISOをインストールし、Squashをインストールします。](#)

[Linuxサーバのインストール](#)

[スカッシュのインストール](#)

[ステップ3：オペレーティングシステムでネットワークを設定する。](#)

[1.ネットワークを確認します。](#)

[2.インターフェイスでIPとゲートウェイを割り当てます。](#)

[ISOをbinファイルにアップロードおよび解凍する方法](#)

[ISOのアップロード方法](#)

[ISOをuntarしてファイルをbinにする方法](#)

[ステップ1:ISOをマウントします。](#)

[ステップ2:CDフォルダからルートの場合にgetfwをコピーします。](#)

[ステップ3：スクリプトを実行します。](#)

[ファイルのダウンロード](#)

## 概要

このドキュメントでは、Linuxサーバを構築し、HUU ISOからcimc.binおよびbios.binファイルを解凍する手順について説明します。

## 前提条件

### 要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- UCS
- Linux

### 使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づいています。

- RHELをインストールするためのリソースを備えた任意のVMまたはハードウェア
- RHEL ISOダウンロード
- Squash RPMダウンロード

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

## このサーバの構築方法

**ステップ1：必要なソフトウェアをダウンロードします。**

### Linux ISOの入手

次のグローバルリンクからISOをダウンロードします。

[https://archive.org/download/rhel-server-7.5-x86\\_64-dvd/rhel-server-7.5-x86\\_64-dvd.iso](https://archive.org/download/rhel-server-7.5-x86_64-dvd/rhel-server-7.5-x86_64-dvd.iso)  
または

ラボまたはエンタープライズからダウンロード（利用可能な場合）

### Squashのダウンロード

[http://mirror.centos.org/centos/7/os/x86\\_64/Packages/squashfs-tools-4.3-0.21.gitaae0aff4.el7.x86\\_64.rpm](http://mirror.centos.org/centos/7/os/x86_64/Packages/squashfs-tools-4.3-0.21.gitaae0aff4.el7.x86_64.rpm)

**ステップ2:Linux ISOをインストールし、Squashをインストールします。**

### Linuxサーバのインストール

クイック インストール ガイド

[https://access.redhat.com/documentation/en-us/red\\_hat\\_enterprise\\_linux/7/html/installation\\_guide/chap-simple-install](https://access.redhat.com/documentation/en-us/red_hat_enterprise_linux/7/html/installation_guide/chap-simple-install)

### スカッシュのインストール

```
rpm -ivh squashfs-tools-4.3-0.21.gitaae0aff4.el7.x86_64.rpm
```

**ステップ3：オペレーティングシステムでネットワークを設定する。**

1.ネットワークを確認します。

```
[root@localhost ~]# ip address | grep mtu
1: lo: <LOOPBACK,UP,LOWER_UP> mtu 65536 qdisc noqueue state UNKNOWN group default qlen 1000
2: ens192: <BROADCAST,MULTICAST,UP,LOWER_UP> mtu 1500 qdisc mq state UP group default qlen 1000
```

Here interface to be used is **ens192**

## 2. インターフェイスでIPとゲートウェイを割り当てます。

この例の場合、

ens192 is the network interface

192.168.1.2 is the IP assigned to interface

192.168.1.1 is the Gateway

255.255.255.255 or /24 is the Subnet

## 3. IPアドレスを追加します。

```
ip address add 192.168.1.2/24 dev ens192
```

## 4. デフォルトゲートウェイを追加します。

```
ip route add default via 192.168.1.1 dev ens192
```

## 5. 到達可能性を確認します。

Pingゲートウェイ : ping 192.168.1.1

これでサーバの準備が整いました。

# ISOをbinファイルにアップロードおよび解凍する方法

## ISOのアップロード方法

SFTPクライアント ( Filezillaなど ) を使用して、ISO(ex.ucs-c220m4-huu-4.1.2f.iso)をLinuxサーバにアップロードします

SFTPのクレデンシャルはroot/password ( これはOSのインストール時に設定 ) で、ポート番号は22です

アップロードが完了するまで待ちます...

## ISOをuntarしてファイルをbinにする方法

ルートクレデンシャルを使用したLinuxサーバIPへのSSH

### ステップ1:ISOをマウントします。

```
mount -t iso9660 /root/ucs-c220m4-huu-4.1.2f.iso /media/
```

ステップ2:CDフォルダからルートの場合にgetfwをコピーします。

```
cp /media/GETFW/getfw /root
```

ステップ3 : スクリプトを実行します。

```
./getfw -s /root/ucs-c220m4-huu-4.1.2f.iso -d /root/
```

**Output:** FW/s available at '/tmp/HUU/ucs-c220m4-huu-4.1.2f'

ファイルと場所 :

ucs-c220m4-huu-4.1.2f/bios/bios.bin

ucs-c220m4-huu-4.1.2f/cimc/cimc.bin

## ファイルのダウンロード

SFTPクライアントを使用してcimc.binまたはbios.binをダウンロードします。

メディアをアンマウントし、ファイルを削除します。

```
umount /media/  
rm -rf ucs-c220m4-huu-4.1.2f*
```

**注 :** このプロセスはすべてのHUU ISOに対するものではありません。Rest all HUUは圧縮解除してbinファイルを見つけることができます。